

もし 災害が起きたら 一緒に 避難できるとは 限らない

あなたの家族の「要配慮者^{*}」は
災害時に適切なSOSが出せますか？



災害時

み まも ちょう
身 守り ま 帳

災害時救済補助手帳

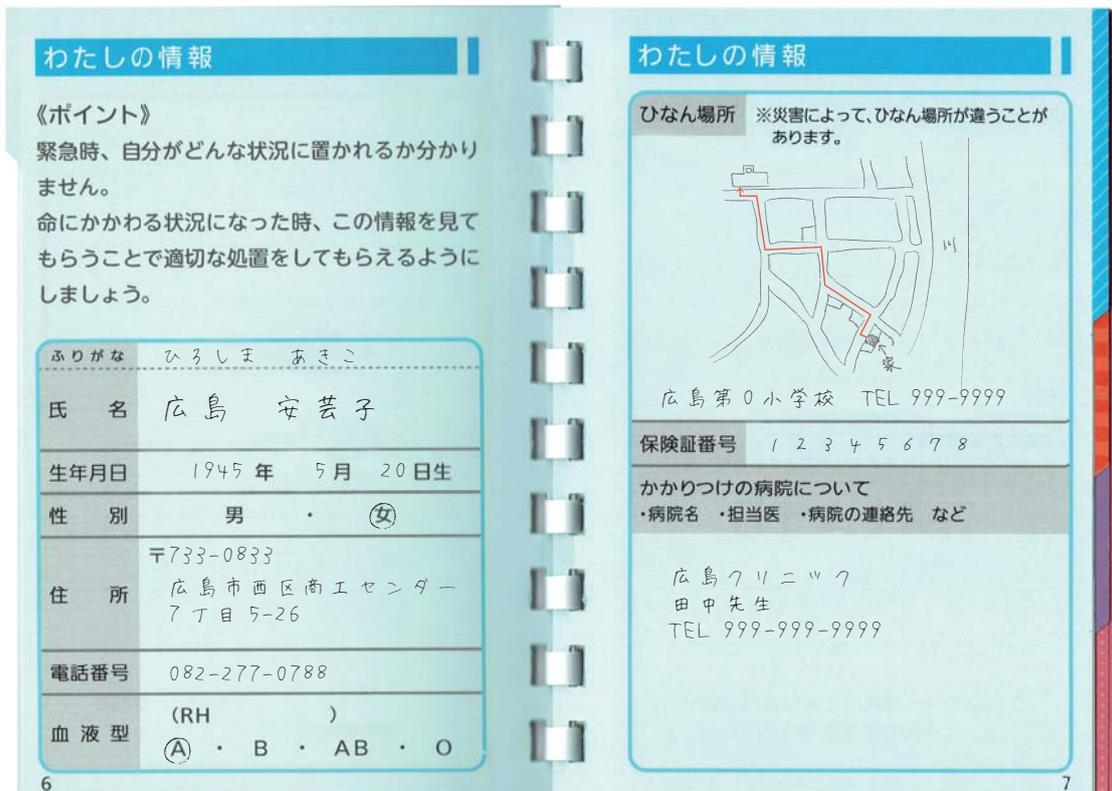
【備えよう】身守りま帳は、書いて備える要配慮者のお守りです

災害時の被災住民のうち

要配慮者の死亡率は **2** 倍

あなたの家族の「要配慮者」は災害時に適切なSOSが出せますか？

身守りま帳は、要配慮者が適切に救済されるために
自らの情報を記載できる [手帳] です。



身守りま帳 とは

単なる個人手帳だけでなく、デジタル通信機が使用できない状況となった場合を想定し、紙による「メモ」や「書置き」などのアナログな「情報の伝達」ができるよう、災害時に役立つ情報をまとめた自助と互助のための多機能手帳です。

要配慮者 Persons Requiring Consideration

*
高齢者、障害者、乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する方（要配慮者）のうち、災害発生時の避難等に特に支援を要する方のこと

参考：東日本大震災記録種（総務省消防庁）

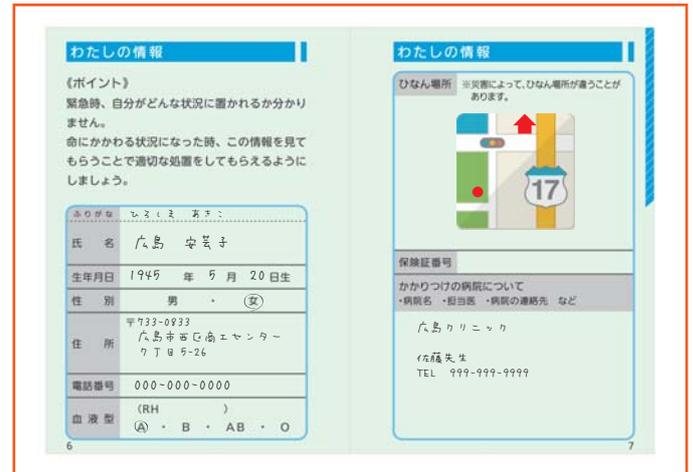


身守りま帳のご紹介（一例）



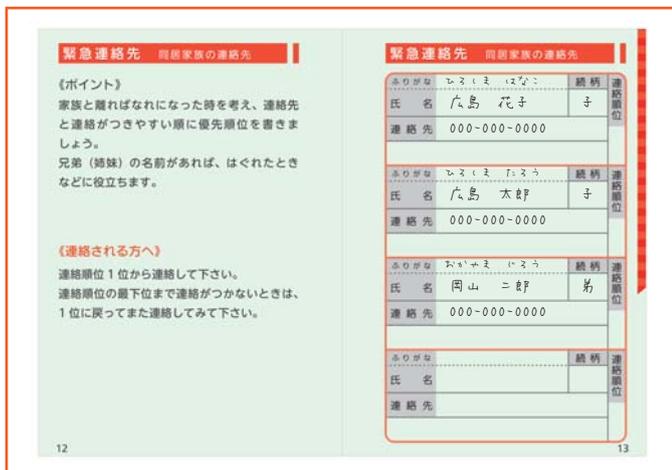
●家族写真

写真を貼ることで身分の証明や家族（ペット）と離れてしまったときに写真を見せることができます



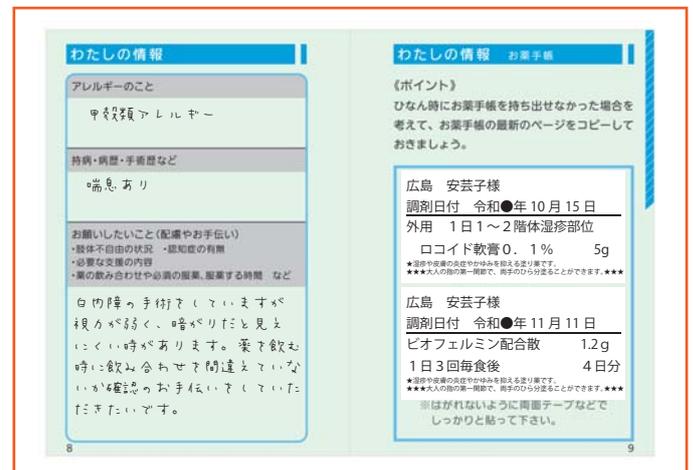
●要配慮者の情報

氏名や住所などの基本情報に加え、アレルギーや病歴など、救済時に配慮すべき情報を書きます



●緊急連絡先

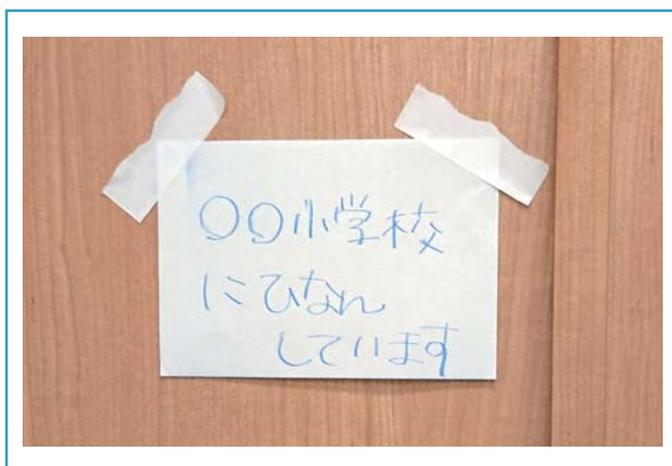
最大8名の連絡先が記入できます
家族と連絡が繋がらなかった場合を考え、
親戚や知人などの連絡先が書けます



●お薬手帳貼付け欄

避難時にお薬手帳を持ち出せなかった場合を考えて、
お薬手帳のコピーを貼り付けられます

その他の機能



●ひっかきメモ

ペンがなくても書けるメモ帳です
2枚重ねた状態で、爪などのとがったもので
引っ掻くと2枚目（下側）に文字が写ります



●多目的シール

伝言メモを書いて壁に貼ったり、
避難所で配慮してほしいこと等を書いて体に貼る等、
自由な使い方ができます

身守りま帳と要配慮者の救済

2011年の東日本大震災で亡くなられた方の内、56.35%が65歳以上の高齢者であったと言われています。また、被害にあった被災住民の内、障がい者が健常者と比較して2.5倍であったことなどから、要配慮者の避難が困難であることが災害対策の課題となっています。（数値は平成24年8月31日時点）

このような状況にもかかわらず、プライバシー保護の観点から被災者の個人情報が開示されず、救助の妨げとなっているケースがあるといえます。

そこで、要配慮者が第三者の救助を受ける際に的確な処置してもらえるよう、要配慮者が自分にとって適切なSOS（情報）を発信できるよう「身守りま帳」を企画しました。

こんな時に役に立つ！

- 避難中迷子になってしまった、どこへ行けばいいかわからない
- いつも飲んでいる薬の名前が思い出せない。アレルギーについて説明したい
- 支援が必要なことを伝えたい
- 緊急時に連絡する電話番号を覚えていない



動画公開中

身守りま帳の紹介動画を公開しています。
ぜひご覧ください。

アンケート募集

身守りま帳をより良くしていくため、アンケートを募集しています。
質問はたったの5問なので、下記QRよりご協力をお願いします。

身守りま帳は試作品のため、まだ販売をしておりません。改良を重ね、リリース予定ですのでご期待ください。

